

## 1 2月定例記者会見要旨

初めに、市内在住の防災士による連絡会設立の情報でございます。

近年、東日本大震災や熊本地震など、大規模地震が各地で発生しており、当市においても首都直下地震発生時の被害が懸念されております。また、気候においても今年7月の「九州北部豪雨」のように、降雨が局地化・集中化・激甚化しておりまして、こうした“新たなステージ”ともいわれる自然災害の変化に対応するためには、ハード面の整備に加え、「人」という資源を活用し、社会全体の防災力を高めることが、喫緊の課題となっております。

こうした状況に鑑み、このたび市では市内在住の防災士による（仮称）龍ヶ崎市防災士連絡会を設立いたします。市町村単位で防災士の組織化を行う事例は茨城県内で初の取組みになります。

現在市内には、県内市町村で最多の236名の防災士がいらっしゃいますが、自主防災組織や地域コミュニティ協議会などの防災活動に十分には生かされていない状況です。このたびの連絡会の設置により、防災知識及び技能の習得をする「学びの場」や、積極的に活動されている防災士や自主防災組織との意見交換を行う「交流の場」が創出され、防災士の皆さまが地域で自信を持って活動できる体制が構築できればと考えております。

続きまして、龍ヶ崎観光アンバサダーの募集についての情報でございます。

この観光アンバサダーにつきましては、龍ヶ崎市の自然・歴史・文化・特産品など様々な魅力を、市内外へ広く紹介することを目的に、平成27年10月に龍ヶ崎市観光物産協会が初代アンバサダー3名を任命しており、今回が3代目となります。

初代からアンバサダーを務めていただいたお二人が3月をもって退任することから、このたび同じく2名を募集するものです。退任するお二人には、平成27年10月の就任以降、約2年の間、各種イベントなどで、龍ヶ崎の

観光資源や物産品を広く市内外へ紹介いただき、市の知名度アップに貢献していただきました。

継続されるアンバサダーの3人の方には、引き続き龍ヶ崎市を広くPRいただくとともに、新たに、これからの龍ヶ崎を象徴するような、明るく元気で活発な方から応募いただけることを期待しております。

最後に、たつのこアリーナのボルダリングウォール竣工イベントについての情報です。

市では、龍ヶ崎市総合体育館「たつのこアリーナ」内、サブアリーナに東京オリンピック追加競技となりましたスポーツクライミングのボルダリングが体験できる壁を新設いたします。

壁の高さが約4m、幅約7mで、現在設置に向けた工事を行っているところですが、当施設のオープンにあたり、竣工イベントを平成30年1月26日午前9時から行います。

会場は「たつのこアリーナ」内サブアリーナで、同イベントには、本市ふるさと大使や、子育てたつのこアクションスペシャルサポーターを務めている本市出身のプロフリークライマー 野口啓代選手においでいただき、テープカットののち、野口選手の母校八原小学校児童との交流イベントを行います。

交流イベントでは、野口選手の紹介ムービーの上映や模範演技、子どもたちによるボルダリング体験などを予定しており、イベントの最後には、2月から始まる新たなシーズンに向けて、子どもたちが野口選手への応援メッセージを準備しているとのことです。

多くの皆さまに実際にボルダリングを体験していただくことで、野口選手へのより一層の応援の輪の広がりや、東京オリンピックで行われるスポーツクライミングへの機運醸成に繋がることを期待しております。